

2022年 5月30日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体・学校名	特定非営利活動法人スマイルシード
連絡先	(電話) 090-3754-5466 (FAX) 022-711-9055 (e-mail) 369seed@gmail.com (ホームページ) http://www.smile-seed-seed.org
代表者名	黄本富士子 (役職) 理事長

1. 助成事業報告

事業名	『今を支え・未来を育てる』 ～共に生きる・心と身体に優しい人材育成～
目的	長引くコロナにより、健康・経済・将来への不安は大人ばかりでなく、子どもから青少年・学生・シニア全般に広がり、人と人の繋がりやコミュニケーションをはかることが大変な状況の時代となりました。 当団体は長年の野外環境コミュニティ整備の経験から、自然農を基本とした、農地や空き家を再活用して、学生を中心に、地域の子ども～シニア多世代による野外での体験を行い、「不便だけど不自由じゃない」「キツイけれど苦労じゃない」「大変だけど楽しい」それは未来に繋がる夢や希望を叶えるための経験などとゆう事を掲げ、環境・健康・食・伝統・文化・防災対策など体験ボランティア活動を通じて学び、共助活動の実践を行いました。被災住民へ、喜びと笑顔を届け、今と未来への希望が持てる環境づくりと体験活動を通じて心と身体で感じ・学び・繋がる人材育成活動を目的としました。
実施内容	災害によって壊滅した農地の再生整備を行った場所で、自然農を基本としたコミュニティ農園づくりを大学生を中心に行い、地域の子どもたちから大人は集う体験農園の運営を実施。また度重なる災害のより空き家となった石巻市網地島の空き家の再生整備を行い、居場所づくりをおこなった。震災後、開始した、島の里山農地の整備耕作を継続的に行い、新たな活用と情報発信を行なった。コロナ禍で多くの人々のコミュニケーションを取ることができなくなった状況の中で万全を期して行った

	<p>【別紙活動進捗表あり】</p>
開始から終了までの流れ	
活動の成果と教訓	<p>成果 コロナ禍であるからこそ、細やかな配慮や準備・工夫ができました。また工夫により関わる人々、参加者との親近感や情報共有ができたと感じています。何より中心となって広報周知発信を行った学生一人一人の役割や行動と実践は記録となりました。野外での活動実践は、感謝の言葉や笑顔はマスクをしていても伝わり、みんなが楽しみ多くを学びことができた活動となりました。</p> <p>教訓 災害やコロナによる、禍や困難がありますが、何よりも人本来の思いや他者を思う精神と自らも大切にした活動と細かな手配や配慮の実践は今後も大いに役に立つとともに多くを学ぶことができたと思います。どのような時代や境遇にあろうとも、人が人を思いやり行動するために考え実践するために工夫することは、更なる可能性とチャンスに繋がると信じます。</p>
今後の展望など	<p>SEED 農園については、コミュニティ農園としての維持管理を行いながら、地域住民が自ら活用できるようにサポートしたいと考えます。</p> <p>島の里山の農地：今後も野外環境コミュニティ体験のフィールドとして活用継続、空き家再生により整備した家は今後、島の活動拠点とし運営維持してまいります。人々が集う居場所として整備継続を行なってまいります。</p> <p>また、島の伝統・文化・環境の情報公開発信することで誰でも訪れ関われる、リトリート的役割を担う場所として整えてまいりたい考えています。</p> <p>今後も 机の上では学べない、心と身体の五感を開放する居場所 人本来の可能性やチャレンジできる場所として発展させてまいります。</p>

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額(円)	備考
みやぎスマイル基金	300,000	
寄付金	52,170	
合計	343,170	

(2) 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

費目	内容	予算額	実支出額	助成金から の支出額	領収書 No.
消耗品費	農園活動苗・ほか	80,000	63,030	40,000	1~16
	コロナ対策用品他				
船賃	石巻港→網地港	43,350	40,250	40,000	17~21
	仙台→石巻	48,000	40,084	40,000	22~32
高速代	仙台東→鳴瀬奥松島	43,200	31,030	30,000	33~49
謝金	指導・運搬・送迎 活動補助	160,000	160,000	150,000	50~68
	プリンターインク	10,000	8,776	0	
合計		384,550	343,170	300,000	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）番号を振ってください
- (3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など）
(※写真是 HP・SNS 等に掲載可能なものを送付ください。)

2011年3月11日の震災後の設立当初から
2020年に流行したコロナ禍においても、
活動を行うことができたのも

住民様の受け入れと皆様のご理解・ご支援のおかげです。
心より感謝申し上げます。
ありがとうございます。

ともに歩む未来....笑顔の花を咲かせましょう！

<順不同>

石巻市住民・網地島島民・東松島市住民

石巻市教育委員会生涯学習課・福祉課

斎藤農園・石巻市社会福祉協議会

横浜市青葉区「徳恩寺」

東北大学有志ボランティアメンバー 他

みやぎ地域復興支援助成金

宮城県共同募金会

公益社団法人日本フィランソロピー協会

サントリー東北サンさんプロジェクト未来チャレンジ

COOPみやぎスマイル基金

日本財団災害支援助成（R4年度地震）

特定非営利活動法人 スマイルシード活動報告

2022年4月～2023年3月



「今を支え・未来を育てる」
～心と身体で感じるコミュニティ体験プロジェクト～



特定非営利活動法人
スマイルシード

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町3-2-26
Mail : 369seed@gmail.com

<https://smile-seed.org>
<https://www.youtube.com/@user-oc4uk3wc9e>
<https://www.facebook.com/npo.smileseed/>

SEED農園の活動

宮城県東松島市の「SEED農園」と、石巻市網地島で野外環境コミュニティ体験活動を実施。自然農を基本とした無農薬・無化学肥料の野菜を種から育て、定植、収穫などを行う、コミュニティ農園として循環活用しています。



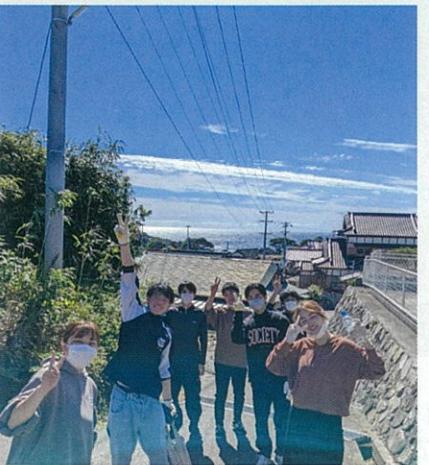
春

2月中旬から種育開始、4月に定植した野菜たちが、元気に成長し始めました！初夏の陽気に包まれながら、草花の森の中で農園カフェを開催。「食いケーション」による参加者同士の交流もでき、コロナと健康についての話題で盛り上がります。



夏

夏野菜の収穫真っ盛りとなりました。地域住民・保育園児や子供たちとのサツマイモ収穫会が始まります。大地の恵をいただき住民と学生との世代間交流と持続可能なコミュニティ農園の循環活動が続きます。



秋

「東北のハワイ」と呼ばれる網地島で、大学生の体験合宿やサツマイモ収穫会。島の自然に触れながら、拠点となる空き家の再生や自然農を体験。スマイルシードの活動の起源となった東日本大震災について「お話し会」や講座の開催、防災についての意識を高め、島の大自然から学びとパワーをいただきました。



島活プロジェクト

石巻の南東に位置する石巻市網地島では、野外環境コミュニティ活動を継続実施しています。高齢化、後継者不足、人口減少などの地域課題に向き合い、島の景観を守りながら、【石巻の宝の島】としての魅力の発信と「心のケア」リトリート的な拠点として活動しています。

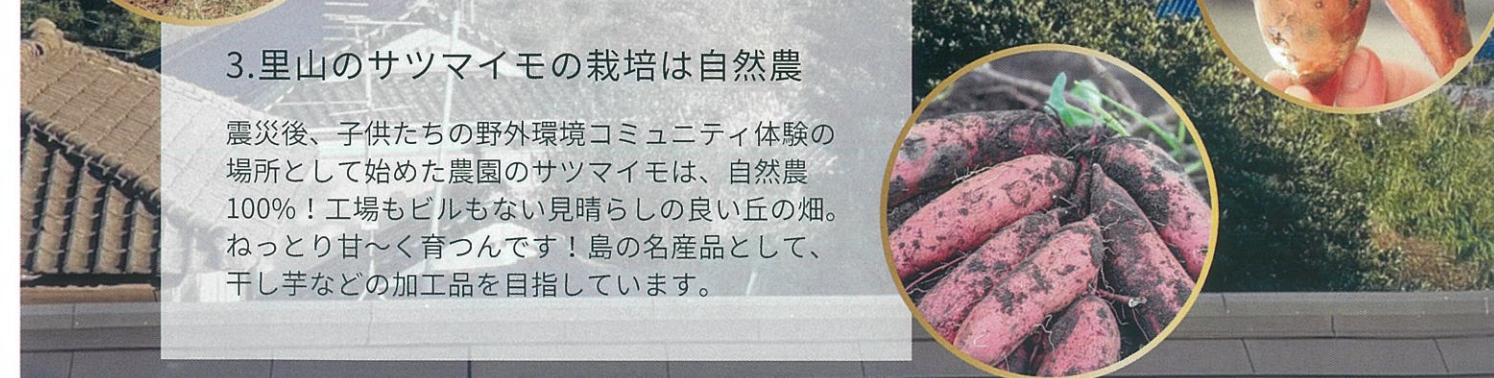
1. 空き家再生活動

災害により空き家となった家の整備・再生はスキルアップ体験活動！地域コミュニティの交流の場所としてリトリート的な居場所として「海の見える丘の家」と名付けました。まだまだ整備体験活動は続きます！



2. 「島カフェ」の開催

「海の見える丘の家」大学生の手作りスイーツや季節の野菜を活用し提供、憩いと交流の場として活用。自然素材を活したワークショップや環境・食育・伝統文化などを課題に活動を月に1回1泊2日で開催活動拠点：石巻市長渡浜船色9-1



3. 里山のサツマイモの栽培は自然農

震災後、子供たちの野外環境コミュニティ体験の場所として始めた農園のサツマイモは、自然農100%！工場もビルもない見晴らしの良い丘の畑。ねっとり甘く育つんです！島の名産として、干し芋などの加工品を目指しています。

